

(一社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町鹿島491-5 ☎(053)926-1562 FAX(053)925-6468  
電子メールアドレス jimuty@tenkenkyo.net ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>  
編集・発行 広報委員会 題字 長谷川智彦



## 天竜美林

奈良県吉野、三重県尾鷲に並ぶ日本三大人工美林のひとつ。  
間伐や枝打ちなどの日々の丁寧な手入れにより、林床にも光が届き、明るく美しい姿を保っています。

(天竜区熊)

## CONTENTS

協会ダイジェスト	2
特集 天竜の地域ブランド化について	4
ちょっとおすすめグルメ／かんとくさん	6
建設ギャラリー／最近のキーワード	7
マイファミリー／コーヒーブレイク	8

上期

## 協会ダイジェスト

## 定時総会の書面決議について

令和3年5月21日開催予定の定時総会は、当日の大雨による国道152号線の通行止めや災害発生時の対応を考慮して急きよ開催を中止したところであり、また、新型コロナウイルス感染症が県西部地域に急増していることを踏まえ総会開催を見合わせ、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条第1項の規定に基づき、総会の決議を省略し書面決議を行うこととしました。

これにより、第1号議案令和2年度事業報告の承認について及び第2号議案決算の承認についてを長谷川会長より全会員に提案書として送付し、同意の可否を求めたところ、6月8日に全会員からの同意の回答をいただき総会の決議があったものとみなされました。

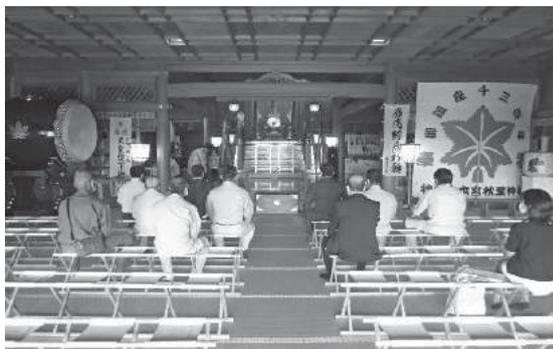
会員の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

## 安全祈願祭を開催

～今年度の無事故・無災害を誓う～

7月6日、天竜建設業協会と建災防天竜分会は、秋葉神社上社において安全祈願祭を開催し、工事事故の根絶を誓いました。

今年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、長谷川会長以下の役員等による少人数で実施し、工事現場での事故防止や新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、無事故・無災害で業務が推進できるよう安全祈願をしました。



秋葉神社上社での安全祈願祭

また、今年度も安全大会は中止とし、表彰式は行いませんでしたが、優良事業所として(株)神谷土木、森吉組(株)、エフ・正光建設(株)の3社と安全標語優秀作品3点を表彰しました。

◆注意です！ウイルス・三密・危険箇所全て回避で無災害

(太田一成 (株)天竜アキヤマ)

◆「まあいいか」それが危険の分岐点

(松本博文 (株)天竜アキヤマ)

◆まあいいやそんな気持ちが命とり  
初心にもどって安全確認

(柏崎喜代美 (株)森下組)

## 行政機関(国、県、市)との

## 意見交換会開催

～公共事業費の安定的・継続的確保を要望～

5月から8月にかけて国、静岡県、浜松市と意見交換会を開催しました。

当協会からは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり先行きが不透明な中、天竜地域の安心・安全を守る重要な使命を担う協会員が健全で安定した経営を継続できるように、

公共事業予算の持続的・安定的な確保をお願いするとともに、限られた人材や資機材を計画的、効率的に使うことができるよう、働き方改革に合わせ、適正な工期設定と施工時期の平準化について要望、意見交換しました。

また、天竜区内は中山間地特有の現場が多く、こうした現場に精通している会員の知識・経験を発注時の設計・積算に積極的な活用をしていただけるよう例年要望してきたところでありましたが、今年度は、現時点で県浜松土木事務所天竜支局(9箇所)と県西部農林事務所天竜農林局(1箇所)からの依頼があり、該当地区の会員を派遣し技術支援を行いました。

## 「フルハーネス型安全帯使用作業特別教育」講習会の開催について

～高所作業における安全確保～

平成31年2月に施行された労働安全衛生法施行により、高所作業において「フルハーネス型墜落制止用器具」の着用が義務付けられ



フルハーネス講習会（実技）



フルハーネス講習会（座学）

ました。3年間の準備期間を経て、令和4年1月2日から完全義務化されることを受け当協会において講習会を開催いたしました。

講習内容は、前半は、墜落制止用器具に関する知識や労働災害防止に関する知識などの座学を実施、後半は実技講習を行いました。

参加人員は、会員20名、非会員7名の計27名で、実施しました。

### 災害危険箇所調査の実施

県・市土木事務所に報告

企画青年委員会は、災害発生の恐れのある危険箇所の調査を、5月中旬から6月初旬にかけて、管内5地区（天竜・龍山・春野・佐久間・水窪）で実施しました。

この調査は、静岡県浜松土木事務所天竜支局からの協力依頼を受けて平成28年度から始めたもので、今回で6年目となりました。

毎年、前年度の危険度A判定箇所（危険度大・早期の現場確認が必要）の再点検と、新たな箇所での調査を実施しております。

近年、天竜地区において、頻発している国道152号線の災害発生に伴い迂回路としての重要性が増している龍山地区の瀨尻橋から下流左岸の大輪天竜線雲名橋までの11.6kmを歩いて調査した結果、二ヶ所の危険箇所を発見。路線全体として継続的な路側の清掃や修繕、待機場所の整備、山側法面の定期的な点検、小落石など法面異常の予兆を見

逃さない取組みの必要性を感じました。

今回の調査報告件数としては、県浜松土木事務所天竜支局へ47件（天竜8、龍山1、春野29、佐久間2、水窪7）、浜松市天竜土木整備事務所へ96件（天竜34、龍山25、春野6、佐久間20、水窪11）の全143件でした。

各地区から提出されたこれらの調査報告は、河川・道路と管理者別に委員が整理製本し、柏崎委員長が説明を含め県・市土木へ報告、危険箇所の事前把握と応急復旧への活用を要望しました。

この危険箇所調査は、近年増え続けているインフラ災害の未然予防対策や、地域の安心安全に繋がる活動として今後も活動を継続し、また協会の繋がりを通して協会活動が更に盛り上がる事を期待します



災害危険箇所調査風景

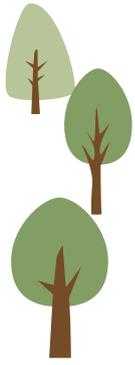
# 天竜の地域ブランド化について

## ▼天竜の地域ブランド化について

県の出先機関である西部農林事務所天竜農林局が取組を始めた「天竜」の地域ブランド化について紹介します。

天竜地域には、お茶をはじめとする農産物、全国に名を馳せた天竜美林から産出される「天竜材」、水、緑などの素晴らしい自然環境、またそれを支える人々がおり、それらにより魅力的な地域となっています。

この魅力あふれる「天竜」の地域を情報発信することにより、多くの人に天竜の良さを知ってもらい、地域としての価値を高め、「天竜」を地域ブランド化することで、この地域の農林産物の価値の向上を図る取組を進めています。



## 近年、百貨店などで「北海道展」

を開催すると多くの人が集まり、農産物や海産物、加工品等がよく売れています。これは、北海道の農水産物の品質が良いということもありますが、「北海道」という名前の持つイメージの力が非常に大きいと思われれます。

このように、産物そのものの価値に加え、生産された場所の名前がもつ印象が、商品を選択する際の大きな要素にもなっています。

当地域においても「天竜」の魅力を情報発信し、多くの人に「天竜」の良さを知ってもらうことで、「天竜」の〇〇ならいいね。」というように「天竜」のモノやコトを選択してもらえるようにしていきたいと考えています。

一般的な農林産物のブランド化といいますが、地域の特産品をPRし、その商品自体を地域のブラン

ドとして売り込んでいくという手法を取りますが、今回の取組はこのようなものとは違い、地域全体をブランド化することで、地域の農林産物全体の底上げを図り、地域全体を元気にしていくというものです。

ブランド「天竜」を確立し、地域の農林業と天竜全体を盛り上げていきます。

## ▼ブランド化に向けて

今回の取組はホップ・ステップ・ジャンプの3段階で進めていく予定です。

まずホップとして、天竜の魅力の現状分析と評価を行い、ターゲットや戦略の検討を行います。

次に、ステップとして、ホップで検討した結果を元に、身近な浜松市内や天竜川下流の市町へ働きかけを行います。

続いて、全県、全国、そして世界中へと夢は大きく広げてジャンプします。

この取組を進め、情報発信を担う組織として、天竜農林局の各課から選出された8名の職員によ

る、「天竜農林局広報委員会」を立ち上げました。

## ▼「天竜農林局広報委員会」



現在広報委員会では、ホップの取組として、天竜の持つ魅力や素材の収集、整理をしています。

天竜農林局の職員がそれぞれの日々の業務を通じて見聞きし、「いいなあ」と感じた農業や林業の風景、四季折々の自然、歴史や文化、グルメ、映画や小説の聖地などを写真で集めています。

またこれまでに様々な団体が作

成してきた地域紹介のパンフレットなども収集しています。

今後、集めた資料を整理分析し、戦略の検討に役立てる予定です。

また、広報委員のメンバーは農林業の職員もいますが、総務や治山・林道の仕事を担当している職員もおり、必ずしも天竜の農林産物に詳しいわけではありません。まずは自らが天竜の農林産物を深く知る必要があります。そこで茶の振興を担当している職員が厳選した天竜地域で生産されたお茶を十種ほど集めて、山のお茶飲み比べを企画しています。天竜茶の特徴である標高の高さや寒暖差から作り出される味わいを、地域の山のお茶である本山茶なども加えて比較し、特徴を学ぶ機会とします。結果については、ホームページ等で情報発信します。



資料の収集分析や勉強会を進めながら、ステップに向けた戦略の検討を重ねていきます。

#### ▼様々な団体等との連携

また、情報発信は、浜松市をはじめ、管内の様々な団体や人たちにも連携を呼びかけ、一緒に進めていく予定です。

すでに、グリーンツーリズム協会北遠支部の皆様にも、WE LOVE 天竜のミニのぼりを配布し、道の駅やグリーンツーリズムの店舗施設で地域の魅力を発信してもらおうと協力をお願いしています。

さらに、天竜商工会、天竜区観光協会、天竜森林管理署、管内森林組合、林業事業体、JA遠州中央、天竜浜名湖鉄道(株)等にも働きかけ、一緒に取組を進めていこうと話をしているところです。

#### ▼天竜建設業協会との連携

様々な団体との連携の中で、天竜建設業協会様にも今回の取組に共感して頂き、このページをお借りすることができました。心から感謝申し上げます。

また、天竜材PRロゴマークマグネットステッカー「天の竜が育てた木」の工事車両等への掲示にご

協力頂けることになりました。このロゴマークは昨年度県立天竜高等学校の協力を得て作成したもので、4種類のロゴマークをお好みでお使いいただけるようになっていきます。8月25日には長谷川会長と贈呈式を行いました。

天竜が日本中、世界中で一目おかれる地域になるよう、皆様のご協力をお願いいたします。



天竜農林局長から長谷川協会長へマグネットシートの贈呈



協会公用車にマグネットシート貼付

#### 問い合わせ先

西部農林事務所天竜農林局 森林整備課 053-926-2314

ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-780/index.html>

ちよこ

# おすすめグルメ

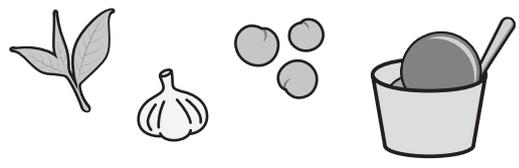
広報委員 道林 尚人

## ◆アイスクリームの包商店◆

天竜区二俣町に今年6月にオープンしたICECREAM&CRAFTのお店「包商店」に伺いました。毎週金曜日から日曜日のみのオープンとなるこちらのアイスクリームは、いつも完売してしまう程の人気。当日も、遠方から高速道路を走ってきたと言うお客さんも見受けられました。

私は、今回は4種類のフレーバーを頂きました。

赤紫蘇feat梅酢は自家製梅酢で仕込んだ赤紫蘇を使用しており、



気分をスッキリとさせてくれる、ジメジメとした暑い日には嬉しいアイスクリームでした。

ほうじチャイは、口を含むと最初はほうじ茶、次第にチャイを感じられる、香りのグラデーションを愉しめました。

緑茶と塩っ気黒豆は、濃厚な緑茶のアイスクリームの中にも塩気を感じるような、爽やかなお味でした。

最後は迷いに迷って決めた、店主おすすめ程癖になるとおっしゃっていました。お味見する程癖になるとおっしゃっていました。お味見する程癖になるとおっしゃっていました。お味見する程癖になるとおっしゃっていました。

と優しくニンニクの香りがして絶品です。

他にも、間引き人參、酒かすと日本酒、カツダモンヨーグルトなどのフレーバーがあり、ラインナップは毎週変わるそうです。こちらは全てパティシエの方が作られているそうで、アイスクリームの方を堪能させような、優雅なスイーツを堪能させていただきます。

日差しがたつぷり入るお洒落で明るい店内は、これから更に広くなるので、どのような空間が出来上がるのか、そちらも楽しみです。

## お知らせ

「2021年3月に公開された『シン・エヴァンゲリオン劇場版:||』の中で登場した“第3村”のモデルとなった天竜浜名湖鉄道の天竜二俣駅の転車台や鉄道歴史館などの特集記事が静岡県建設業協会広報誌「けんせつ静岡」のわが町ウォッチングで掲載されています。ご興味のある方はこちらのURLからご覧ください。

<https://sizkk-net.or.jp/magazine/>  
(広報誌-静岡県建設業協会 (sizkk-net.or.jp))

## かんとくさん



浜松市土木部天竜土木整備事務所  
三遠南信自動車道整備事務所

高井 竜太

お世話になっております。本年度で三遠南信自動車道整備事務所配属されて5年目となりました。当事務所は国直轄の三遠南信自動車道の一部にあたる(国)152号(池島―大原)の現道改良を行っています。担当業務は、道路・橋梁・防災事業に係る設計業務と工事の発注および監理業務です。

この事業には、道路工事に関連する工種が凝縮されていて、覚えること、勉強することが多く、苦労が絶えませんが自分が土木技術者として成長できると思うとやりがいも感じています。

三遠南信自動車道の整備効果は三遠南信地域への高速サービスの提供、地域医療サービスの向上への支援、災害に強い道路網の構築を掲げております。その実現に向けて、天竜建設業協会の皆様にはご協力いただいているところではございますが、引き続きよろしくお願い致します。

# 建設ギャラリー

工事名称	令和元年度土木施設災害復旧事業 (市)水窪白倉川線外1路線道路災害復旧工事(30災第13号)
工期	令和元年9月20日～令和3年7月30日
発注者	浜松市
施工業者	天龍土建工業(株)
工事箇所	浜松市天竜区水窪町奥領家地内
工事概要	復旧延長L=312.8 堆積土砂撤去工V=4,600 植生マット工A=10,900 コンクリートブロック積工A=222 床固工N=2 カルバート工N=2 渓流水路工A=1,400 路側防護柵工L=172

本工事は、平成30年7月7日に発生した土石流により破損・埋塞した(市)水窪白倉川線及び(市)水窪有本線に対して、通行する際の安全確保を図るため災害復旧工事を実施するものでした。

現場は流木混じりの土砂が堆積していた為、まずは現地で流木と土砂に分別し、仮置き場まで運搬しました。その内、残土については最終処分地(渡ヶ島地内)片道60kmの遠隔地まで搬出を行いました。残土運行中の令和2年7月上旬に、運行ルートで災害が発生し、一時不通となってしまうアクシデントに直面しました。その間発注者と協議し、現場近くに仮置き場を確保し、残土を仮置きする事で、現場内の工事を進捗させ乗り切る事が出来ました。

災害に関連し、斜面上部で治山事業も同時期に進行しており、施工時期が干渉する等の問題や、梅雨前線豪雨による影響を受ける等の問題がありましたが、それらの問題をクリアし、最後に地元自治会から感謝状を頂きました。

発注者の理解と下請け業者の協力もあり、工期が12カ月を超える長期でしたが、無事故で工事を完了する事が出来ました。



着手前



完成

コロナ禍で生まれた現象の一つ、ウッドショック。今年3月ごろから住宅建設業界で騒がれ出した現象で、聞き及んでいく方も少なくないでしょう。住宅の柱や梁、土台などに使う木材の需給が逼迫、木材不足から価格が高騰して住宅市場に大きな影響を与えています。木材需要の6割以上を輸入に頼っている日本の現状を背景に、①米国の超低金利住宅ブーム②中国の好景気住宅需要③世界的な巣ごもり需要からの木材輸入用コンテナ不足などが複合的に絡み合い引き起こされたといえます。いずれもコロナ禍ゆえの現象と言えます。

そうなるのがぜん注目されるのが国産材です。当初は「ウッドチャンス」とも言われ、停滞を続ける木材産業の起爆剤として期待されました。実際、県内統計で4～6月期の木造建築着工数は増加に転じています。しかし、従事者の減少や高齢化など林業・木材産業が抱える問題は根深く、こうした急激な需要への対応が難しいというのが現状のようです。

ウッドショックはあくまでも暫定的な現象で、いずれ近いうちに解消されるという見方もあります。これで、手打ちとすることは簡単ですが、提起された問題として考える機会を得たと捉え、それこそがチャンス(機会)としたいものです。ブランド「天竜材」を生かすためにも。

最近のキーワード  
「ウッドショック」

私の家族は、妻と小学2年生の長男と、小学1年生の次男の4人です。約9年前までは春野で暮らしていましたが、親が亡くなってから天竜区山東へ越しました。長男はテレビ番組で得た情報や知識を得意気、に話してくれませんが、正しく覚えられないので怪しいなと思うことが多々あります。次男は、トランプでゲームをすると負けたくなくて、相手にとられそうになるとカードを押さ



春野建設事業協同組合  
村上 和司

れてしまいます。今は夏休み中なので、家の中を走り回ったり、テレビに夢中になってしまい「宿題をやりなさい」と、私と妻に叱られている毎日です。私も小さかった時、よく親に叱られていたので、あまり叱ってもいけないかとも思っています。妻が中国出身なので、お金と時間に余裕があれば、妻の故郷へ行つて見たいと思います。



初めまして、私は、フェリーチェのトマトクリームパスタです。  
国道152号線沿い、船明の光が丘中学校北側にあるイタリア料理店で、看板メニューとして日々お客様に愛されています。  
「Felicé」とは、イタリア語で「幸福な」という意味で、クリーミーな味わいでご来店いた



フェリーチェ

だく皆様のお口の中を幸福に導いています。パスタといえば「アルデンテ」と言われますが、こちらもイタリア語で「al dente」、意味は歯ごたえのあるというもので、コシがあるという意味合いに近いのかもしれませんが。  
メニューは、私共、パスタに加えて、ピザやオムライスも皆様に幸福に導くべく、店主が腕を奮って皆様のお越しをお待ちしております。  
新型コロナウイルスの蔓延により、なかなか外食が厳しい時節柄ですが、どうかこの私の写真を見て来る日にこの私のクリームパスタで食の幸せを感じていただけたら幸いです。  
待ちきれない方は、テイクアウトにて是非私をご自宅まで連れて行ってください。

建設業界の皆様へ

# 建退共に参加しませんか

福祉の増進と企業の振興のための国の退職金制度です

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

令和3年3月

建退共の掛金が電子申請で納付可能になります！

- ◎法律に基づき運営される国が作った制度
- ◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価
- ◎国からの財政上の支援

- 特長**
- ◎掛金は全額非課税（損金または必要経費に算入できます）
  - ◎複数の企業間で就業しても通算して退職金を支給
  - ◎加入の手続きは簡単

●加入できる事業主  
建設業を営む事業主

●対象となる労働者  
建設業の現場で働く方

●掛金は一日310円

現場に信頼を、将来に笑顔を。

未来に安心を

建退共

国がつくった退職金制度なので安心かつ優美！ 副産品も豊富！

建退共は建設業で働く労働者のための退職金制度です。

独立行政法人 勤労者退職金共済機構  
建退共静岡県支部

〒420-0851 静岡市葵区黒金町11-7-12階  
TEL 054-255-6846

建退共本部のホームページをぜひ、ごらん下さい

建退共

検索

